



校報

水糸者

No. 1303

元年度・第162号

「最高学年」としての6年生の姿！

～「飛ぶ鳥はあとを濁さず、『伝統』と『財産』を残す」～

14日(金)は委員会活動がありました。この時期は6年生から5年生への引継ぎもあり何かと忙しい6年生ですが、今回もいつも通りの、しっかりと丁寧な委員会活動を行っていました。



5年生に活動の引き継ぎを行ったり、読み聞かせの練習に励んでいた図書委員会の6年生。

低学年のトイレでは、壁や床を磨いている保健委員会の姿がありました。普段は明るく活発な男子が、無言で一心不乱に磨く姿からは「先生に言われたからやっている。」のではなく、保健委員会としての誇りと自覚、責任、喜びをもって行っている行動であることがすぐにわかりました。この1つの委員会活動での6年生の行為からも最高学年の自覚と誇りを感じました。

3学期始業式で「下級生に真似をしてほしい姿を、手本となる姿を示してほしい。」と話したことをしっかりと実行している6年生の姿が、とてもうれしく感じられました。



トイレをきれいに磨き上げていた保健委員会

なお、この時期には、6年生と校長との面談も実施中です。「種小の思い出」や「成長したと思う事」、「最上級生として、種小にどんな伝統を残していきたいか」などを6年生から聞いています。



校長面談中の6年生

母校を思う6年生の発言に、最上級生の誇りとこの6年間での心の成長ぶりがしっかりと伝わってきて、とてもたのしく感じている6年生との面談です。

後日、面談中に語った6年生の夢や願いをお伝えします。



友と読書をしたり、校庭を走り回ったり、楽しく関わり合いながら学んでいる6年生の姿。

6年生は今、自ら考え、自らの意思と意志で動き始めています。

間もなく種市小学校を卒業していく6年生には、これからも在校生に『自信と誇り、自覚・責任』を背中であげてほしいと願っています。

今の6年生の行動は、確実に種市小の伝統・財産、校風となって行く事でしょう。

「鬼」を追い出す種小っ子

2月3日の節分の日には、子ども達の心の中に住んでいる悪い鬼や弱い鬼を追い出そうと、各学級では豆まき集会や鬼のお面作りを行っていました。「恥ずかし鬼」や「黙る鬼」、「反抗鬼」、「勉強いやいや鬼」、「動きが遅い鬼」、「イライラ鬼」、「だらだら鬼」、「言い訳鬼」、「泣き虫鬼」などなど、成長期の子どもらしい、たくさんの『鬼』が教室前の廊下に飾られていたのは4日の参観日でもご覧になったことでしょうか。



18日の全校朝会で「心の鬼を追い出すためには『①豆をまくこと ②好きな事とことんやる事（好きな事とは勉強や読書、スポ少など） ③元気なあいさつをすること』の3つをやりましょう。今の話を信じていない人が多いようですが、残り1か月「好きな事とことん生活」と「あいさつ」を続けてやってみてください。」と、話しました。



弱点や短所を直そうとあれこれ試したり悩んだりするより、1つの事を徹底しそれをやり遂げた自信を持たせる方が近道となる事が多いからです。学校でもご家庭でも子どもが



小さな胸を痛めている「弱い鬼」や「悪い鬼」に共感しながら、子どもが一度決めた事を最後まで励ましながら、しっかりとやり切らせる事を「節分」の行事を使いながら実践してみましよう。

1年生は「的」に鬼の面を貼り付け「的当てゲーム」をしていました。



春・春・春

暦の上ではすでに『春』が到来しています。雪もない暖冬のせいもあり、既に早春の雰囲気もある種市です。文化庁と日本PTA全国協議会が選定した「日本の歌百選」に選ばれている『早春譜』の♪春は名のみの 風の寒さや♪の歌詞は、今年は当てはまらない風景です。

星座も確実に春の星座に衣替えの最中です。おおぐま座の北斗七星やうしかい座もかなり見やすい高さまで昇ってきています。



また、旧八戸藩の春を告げ、豊年満作を祈願する国重要無形民俗文化財の

『えんぶり』も17日から始まり、明日20日が最終日となっています。大夫の勇壮な舞、かわいい大黒舞と恵比寿…。



春はもうすぐです。体を労わりながら、

春はもうすぐ!

春の準備をしながら北国の春を待ちましよう。

